

令和六年度 卒業証書授与式 校長式辞

冷たい春の雨や雪に耐えながらも、桜の蕾は確実にその命をふくらませ、花開く日を待ち望んでいます。同じように、春を迎え花開かんとする卒業生を祝い、東京都立大泉桜高等学校、第十八回卒業証書授与式を、来賓の皆様、保護者の皆様御列席のもと挙行できること、校長としてうれしく思っています。今年の卒業生、本校十八期生が入学した三年前は、まださまざまな制限の中での入学式だったことを思うと、今日の卒業式では、声高らかに歌うことができ、また今日の卒業生の姿を、在校生と共に見守ることができることをことさらにうれしく思っています。

卒業生、本校十八期生のみなさん、卒業おめでとうございます。今お渡しした卒業証書には「本校所定の課程を修了したことを証する」と書かれています。これは、卒業を証明するだけでなく、みなさんが本校に学び、生きた証しでもあります。この、「本校所定の課程」という言葉は、単位制であるこの大泉桜高校においては、他の高校と違った意味をもっています。みなさんは、一年次から、キャリアガイダンスの授業や、個人面談、三者面談などで、自分の将来に向けてさまざまな選択をしてきました。科目選択、進路選択、受験科目の選択、受験する学校や会社の選択。本校での学習は選択の連続でした。本校のスクール・ミッション、学校としての使命には「単位制の特色を生かした多様な選択科目による教育活動を通して進路実現を図り、社会を生き抜く生徒を育成します。」と書かれています。科目選択に当たっては、自分と向き合い自分の将来の夢を探り、自己理解を深め、先生や家族と相談し、選択をしていったことと思います。

人生は、日々の生活は、まさしく選択の連続です。皆さんが本校で学んだ選択の力が、これからの社会を生き抜く力になっていきます。「本校所定の課程を修了したことを証する」ということは、これからの社会を生きる力を皆さんが持っていることを認める、ということです。どうか自信をもって、これからも様々な選択をして、自身の人生を切り開いていってください。

さて、十八期生の皆さんの卒業にあたり、私から「平和」をテーマに話をします。私の心に真っ先に浮かぶ十八期生との思い出は、二年次の九州への修学旅行です。中でも印象深いのは、長崎での、被爆されたかたのお話と長崎原爆資料館の見学です。皆さんと共に、おとしの秋に平和について学び私も思いを新たにしました。皆さんもその時に、文化祭の売上金を寄付することでも、平和な社会の実現に貢献しました。そして昨年、ノーベル平和賞が、日本原水爆被害者団体協議会、日本被団協に贈られました。私も日本人の一人として誇らしく思うと同時に、修学旅行で学んだ長崎の方々の思いを改めて思い起こしました。

本校在学中に、長崎で平和について学んだ皆さんに、高校を卒業し次の世界に羽ばたいていくこの時期に、改めて平和について考えてほしいと私は願っています。本校での学びを生かし、皆さんには、平和をつくる人になってほしい。平和とは、単に国と国同士の戦争のない状態をいうものではありません。私は、人々が心穏やかに、お互いを尊重しながら暮らせる社会が平和なのだと考えています。

皆さんは、この大泉桜高校で、平和な社会を築くことを学んできたはずです。三年間、校舎内に飾られた、美術を学ぶ生徒の作品を見て過ごしてきました。また卒業制作展でも自分の作品を展示し、友達の作品を鑑賞したことでしょう。他人の自己表現を認め、他人の存在を尊重し、他の尊厳を守る、そのことを皆さんは日常的に学んできたはずです。それこそが、平和を築く心なのです。この大泉桜高校で学んだ三年間の経験を、平和な社会づくり

に生かしてください。

平和な社会をつくるためにもう一つ、皆さんが身につけ、これからも身につけていくものがあります。それは、校歌の三番の歌詞にある「英知」です。英知とは、辞書の説明では、「深く物事の道理に通じる知恵。高い知性。」とありました。英知を身につけること、それが「学び」です。つまり、これまでに学校で学んだこと、これからも学び続けることが、英知を身につけることになり、そしてそれが、平和の実現に必要なことです。上級学校に進学する人は、さらなる学びをそれぞれの学校で続けることになります。就職する人も、社会人としての学びがあります。現代社会における、平和を脅かす社会問題、社会課題を解決させるためには、私たちは学び続けなくてはなりません。

本校の教育目標の一つに、「社会の変化に対応し、生涯にわたって学び続けることができる主体的な生徒の育成」が掲げられています。生涯にわたって学び続けるには、私は三つのことが必要だと考えます。一つは、学ぼうとする謙虚な姿勢、二つには知的好奇心、そして三つには健康な心と体、この三つが必要です。どんなものからも学ぼうとする謙虚な姿勢をもち、多くの情報がメディアからあふれる中でも知的好奇心のアンテナでキャッチし、知性を磨き英知を身につけてください。そのためにも、いつまでも皆さんの心と体が健康であるよう祈っています。

卒業生の皆さん、社会の一員として、共に平和な社会を築いていきましょう。卒業にあたり、平和を学んだ皆さんが、平和の実現のためにこれからも学び、活躍することを期待しています。

本日御列席の保護者の皆様におかれましても、卒業の日を迎えましたことをお慶び申し上げます。御家庭でも、卒業生が今日の卒業までさまざまな選択を経て、自らの力で卒業の日を迎え、自分の進路を実現させたことを、たたえていただきたいと思います。

これまでの三年間、御家庭でも生徒をあたたく見守り、本校へ毎日送り出していただいたこと、感謝申し上げます。また、御家庭の御協力あってこそ、今日の卒業生の立派な姿があり、本校の教育も成果を上げることができました。これまで本校の教育に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

結びとなりますが、本校十八期生の卒業にあたり、教職員を代表して、保護者の皆様、地域の皆様の本校の教育への御理解、御協力に感謝申し上げます。そして卒業生のみなさんの、健康を祈り、さらなる活躍をお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和七年三月八日

東京都立大泉桜高等学校 校長 尾崎 肇